

# こびーぬ反町ルーム 支援プログラム

放課後等デイサービス こびーぬ反町ルーム

作成年月日 2025年3月15日

法人理念: ・生き生きと楽しく成長できるように、安心・安全な場所を提供していく。

- ・個々の能力を伸ばしていく。
- ・子供とその家族笑顔を作るお手伝いをする。

支援方針: 個別療育では、個々の課題に即した支援を実施し、集団療育では、社会性やコミュニケーション能力を育てていく。また、学びの場所も提供する。

ご家族への相談援助や関係機関との連携を図り、包括的な支援を行えるよう努めている。

営業時間: 平 日 12:00~18:00

学校休業日 10:00~16:00

送 迎: 有

支援内容: 健康・生活

- ・毎日の健康管理と、必要な対応を行う。
- ・小さなサインから、心身の異常に気付けるよう観察を行う。
- ・来所時の身辺処理(靴の着脱、荷物の整理や管理、連絡帳の出し入れや管理など)を、個々の発達段階に合わせて実施し、習慣化できるように支援する。
- ・生きていくために大切な行為、食べること、排泄、等の生活スキルの向上を目指していくこと。  
健康的な生活のリズムが身に着けられるように、スケジュールを提示し、決まった時間、タイミングで誘導し、実施していく。
- ・一日の流れやルーティンで行うことは、個別性を重視し、理解し易い方法で行い、安心して不安なく過ごすことができるように支援していく。
- ・生活の中での課題に取り組み、得意な面はよりできるように個別支援として取り組んでいる。
- ・正しい手洗いとうがい、歯みがきを習得し、習慣化していく。

運動・感覚

- ・集団運動では、ダンスや運動神経を鍛えるコーディネーション運動、ラジオ体操、バランス運動を楽しく行いながら、個々の課題も克服していきます。
- ・体を動かすのに最も必要である体幹機能と姿勢保持に役立つべく正座を推奨し、必要な筋力トレーニングを遊びやゲーム的なプログラムを取り入れ、楽しく継続していきます。
- ・月に1回の工作では、季節を感じられる作品作りを行います。興味や楽しさを感じながら、指先や手全体を動かし、巧緻性を学び、感覚や感触を感じることができる。完成することで、

満足感、達成感が得られる。

#### 認知・行動

- ・色、数字、物などの名刺について、様々な概念獲得に向け、特性や個々能力に合わせた支援を行う。
- ・認知や解釈、理解がしやすいように、必要な環境を整え、ストレスフリーな時間を過ごせるような支援を提供する。
- ・集団活動、制作活動にて、感覚を刺激し、興味の幅を広げることができるように支援していく。
- ・ブロック、型はめ、カードのマッチング、紐通し、プットインを行い、数量・大小・色・空間概念を形成していく。
- ・行動のひとつひとつを行う際、今の時間を確認して自分で時間設定をし、時間を意識しながら、決まった時間で行動することで、時間の使い方を学ぶ。
- ・時計が読めないお子さんは、目で見えるタイマーを使用し、時間で動くことができ、必要性を理解できるようにする。

#### 言語・コミュニケーション

- ・声を出して音読する。決まった歌をゆっくり歌い、口を動かすなど、個々に合わせた方法で、発語する機会を増やし、課題の克服と能力の向上を計る。
- ・絵カード・サイン・ジェスチャーを用いて、言葉以外の手段の獲得を支援する。
- ・表現のバリエーションが増えるように、その時、その場で、見本や例をみせ、積み重ねて学んでいく。
- ・日常生活の中で、他者とのやり取りの場を提供し、適切なコミュニケーションや行動がとれるように援助していく。
- ・始まり・帰りの会では、フルネームで、自分の名前を皆に伝えることができる練習を行う。学校や身の

#### 人間関係・社会性

- ・職員がモデルケースとなり、他者交流の経験を積むことができるように支援する。
- ・相手との関係性や状況により、言動を変えていくことや、ルールやマナーの必要性強調した関わりを持てるように支援します。
- ・適正な距離感が理解できるように学び、他者との良好な関係形成を育んでいく。
- ・回りにあったことを発表する時は、気持ちを伝えるバリエーションが増えるよう例をや見本を提示したり、気持ち絵カードを使い、学びを深めていく。

#### 家族支援

- ・連絡ノートや送迎時において、情報共有をしていく。
- ・その都度必要なことは、速やかにお伝えし、解消・解決していきます。
- ・定期的な面談以外でも、変化がないか、状況や状態の確認をしていき、不安や困りごとへの相談援助を行う。

#### 移行支援

- ・学校や関連機関と情報交換や話し合う場を設けるなど、包括的な支援が行える環境を整え、支援

する。

#### 地域支援・地域連携

- ・地域のイベントには、積極的に参加していく。
- ・地域との交流の機会を提供し、支援する。

#### 職員の質の向上

- ・毎日1～2回、ミーティングを実施。
- ・虐待研修など研修の実施。
- ・外部の勉強サイトを使い、特性の理解と支援のスキルアップを実施していく。  
(全員が発達障害支援員の資格取得を目指している。)
- ・外部での研修会に参加する機会を作る。
- ・関係機関との交流会へ参加することで、交流を深める。

#### 主な行事等

- ・運動会
- ・夏祭り
- ・ハロウィン創作と発表会
- ・クリスマス会
- ・修了・卒業の会
- ・長期休暇や代休日、校外学習
- ・水遊び
- ・遠足
- ・防災センター等の社会見学